

医療の国際展開 取組の現状と見通し

資料 2 - 3

1. 経緯

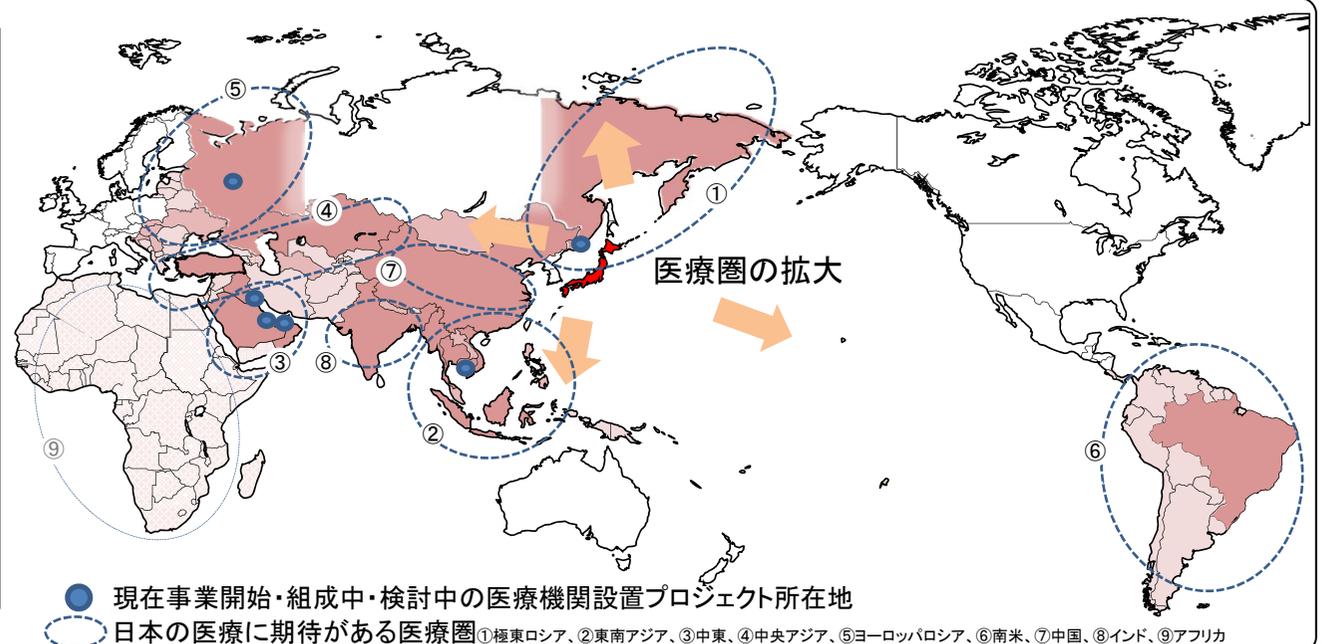
- 平成25年4月、一般社団法人Medical Excellence JAPAN(MEJ)を設立。
- 総理訪問を機に、ロシア、UAE、クウェートにおいて日本式の医療センターの構築の合意等の進捗あり。
- 日本再興戦略では、2020年までに新興国を中心に日本の医療拠点を10か所程度創設、2030年までに5兆円の市場獲得が目標。

2. 現状

- (1) MEJを国際展開の中核組織として機能させるため、健康・医療戦略推進本部の下にタスクフォースを設置し、「今後の医療の国際展開に関する合意」を決定する等、所用の措置を講じている。
- (2) 相手国の特性に対応し、政府とMEJの二人三脚で、施策のPDCAを開始。
 - ① 政府がMEJの協力を受けて担うテーマ
日本方式の医療・保険制度、医療の技術標準の新興国での採用促進(例えば、2015年のASEAN経済統合における医療制度構築支援等)。
 - ② MEJが政府の支援を受けて行うテーマ
 - 1) 日本の医療界の支援による個別の医療機関等、日本式医療センターの構築、運営支援。
 - 2) 人材育成等。

3. 取組状況

- (1) 日本の医療に対する期待がある医療圏は、①極東ロシア、②東南アジア、③中東、④中央アジア、⑤ヨーロッパロシア、⑥南米、⑦中国、⑧インド、⑨アフリカ
- (2) 日本と相手地域の医療界が深くつながり、様々な事業を展開
 - ① 医療人材の育成
 - ② 医療・保険制度の構築
 - ③ 医療関連ファイナンスの導入
 - ④ 医療機関の整備と機器提供
 - ⑤ 周辺インフラ・街づくり など
- (3) 理解されやすく、取り組みやすいスキームは日本式病院の設立であり、医療圏拡大の橋頭堡として、いくつかの医療機関設立案件を推進



医療の国際展開 取組の現状と見通し

4. 個別案件の進捗の概況（各案件のスキーム等は、別紙参照）

○ 中東、極東ロシア、西ロシア、中央アジア、その他アジア(中国、インド、東南アジア)、アフリカ、南米、各地域に拠点を創生すべく以下の案件に取組む

医療施設 → 医療を中核とした社会・まちづくり

地域	国名	案件	取組の状況	取組に含まれる要素				
				日本式医療拠点の構築	人材の教育	医療関係の制度・基準等 <small>(保険、医薬品・医療機器に係る認証、医師法・医療法に関わる事項等)</small>	ICT活用 (遠隔医療)	医療関連地域 インフラ整備 (社会/街づくり)
極東ロシア	ロシア	●北斗画像診断センター (ウラジオストク)	事業開始	○	○		○	
西ロシア	ロシア	●日ロ先端医療センター (仮称)(モスクワ)	組成中	○	○			
東南アジア	カンボジア	●カンボジア救命救急センター ・大学院	組成中	○	○	○ 民間保険創設	○	○
中東	UAE	●日本UAE先端医療研究センター (仮称)	組成中	○	○			
中東	カタール	●日本・カタール再生医療 ・細胞シートセンター	検討中	○	○			
中東	クウェート	●クウェート総合病院・教育施設	検討中	○	○			

今後に向け検討中の国

イラク、インドネシア、カザフスタン、グルジア、サウジアラビア、シンガポール、トルコ、バングラデシュ、ブータン、ブラジル、ミャンマー 等

5. 取組み推進のためのさらなる支援

○日本再興戦略に基づく医療の国際展開が政府の支援も受けて具体化しつつあるところ。推進の加速化には、タスクフォースとともに、以下の取組の充実を図ることが重要。

- ①国際展開に挑戦している医療機関、企業等に対し、総理、官房長官から直接、励ましをいただく機会の設定、優れた取組みに対するアワードの創設。
- ②各国首脳との外交の場を活用したトップセールス。
- ③医療に関わる新しい事業展開、リスクテイクを行う資金の担保。具体的には、健康・医療戦略ファンド(仮称)の創設 等

6. 今後の医療国際展開タスクフォースの予定

○8月7日第1回:「今後の医療国際展開に関する合意」が決定

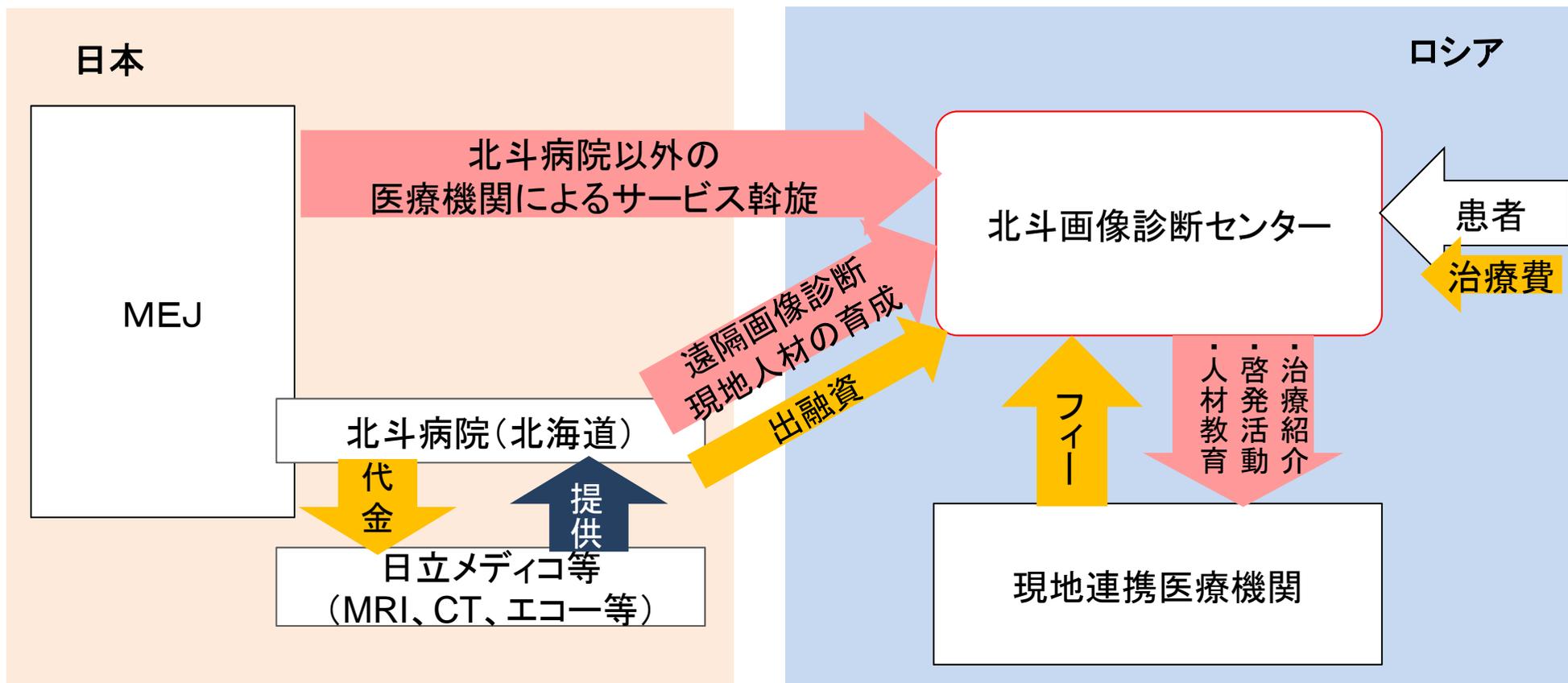
○次回タスクフォースは関係府省等の取組の現状・突合などを想定(11月11日予定)

各国における案件進捗状況(ロシア(ウラジオストク))

参考

事業開始: ロシア(ウラジオストク) 北斗画像診断センター (平成25年5月事業開始)

○ 高度な画像診断サービスを提供し、日本への患者の窓口としても機能。



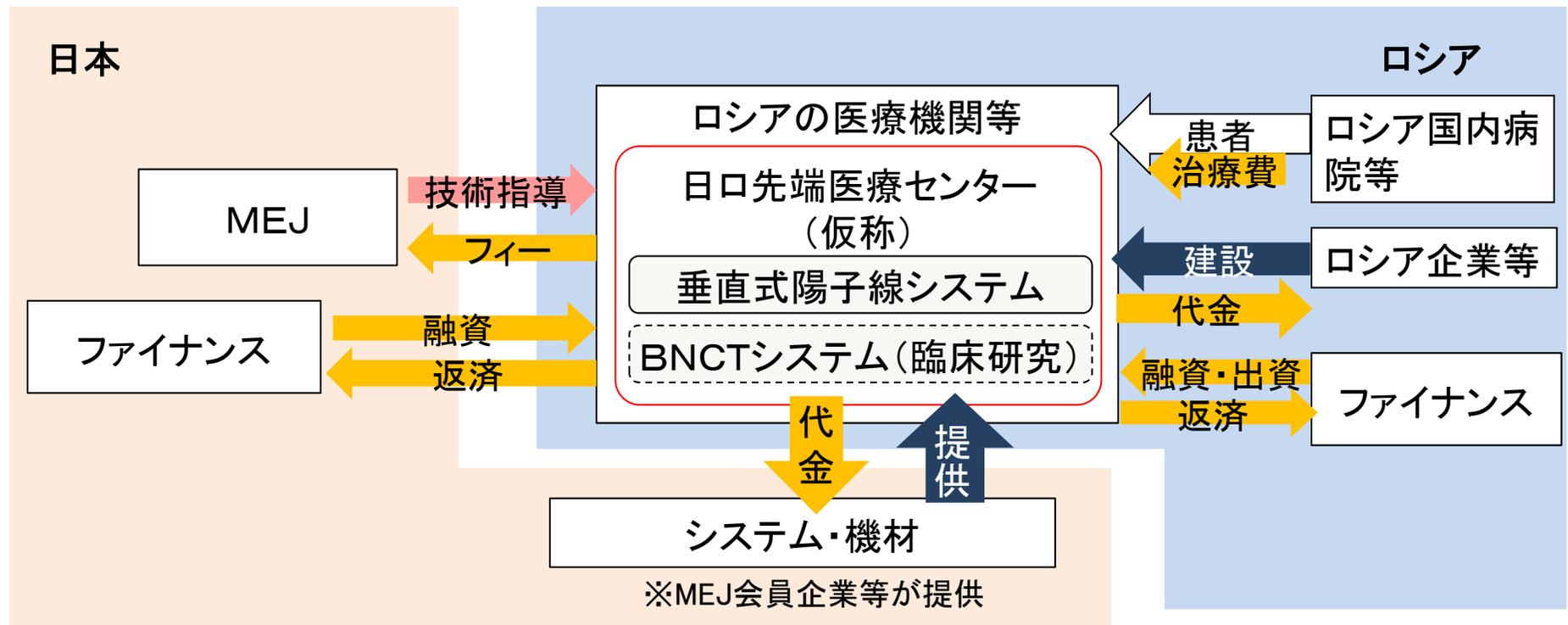
事業主体: 合弁会社
設備内容: MRI、CT、超音波診断装置

各国における進捗状況(ロシア(モスクワ))

参考

組成中: ロシア(モスクワ) 日ロ先端医療センター(仮称)イメージ

- 陽子線治療が主軸。陽子線治療サービスの事業が軌道にのった段階で、他の日本式医療サービスを順次導入。
- 陽子線治療の具体的指導・サービス提供(医師、医学物理士の手配等)はMEJがフロントとして機能。



事業主体: MEJ

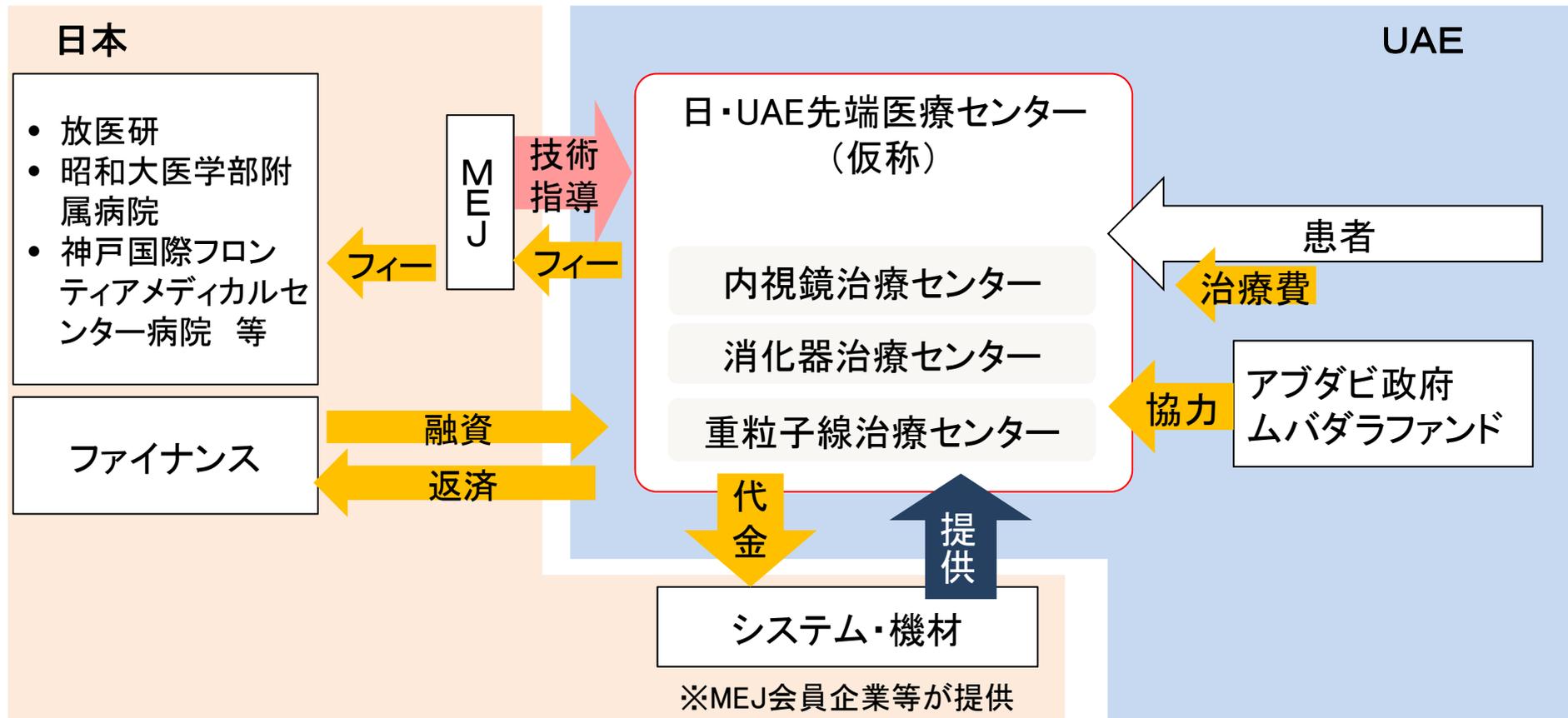
設備内容: 陽子線治療機(サイクロトロン1基、ガントリー2基)、BNCT(臨床研究)

各国における進捗状況(UAE)

参考

組成中: UAE(アブダビ) 日本UAE先端医療研究センター(仮称)イメージ

- 内視鏡治療センターや消化器治療センターの導入から開始。軌道にのった段階で、粒子線治療サービス事業を導入。
- 粒子線治療等の具体的指導・サービス提供(医師等の手配等)はMEJがフロントとして機能。



事業主体: MEJ

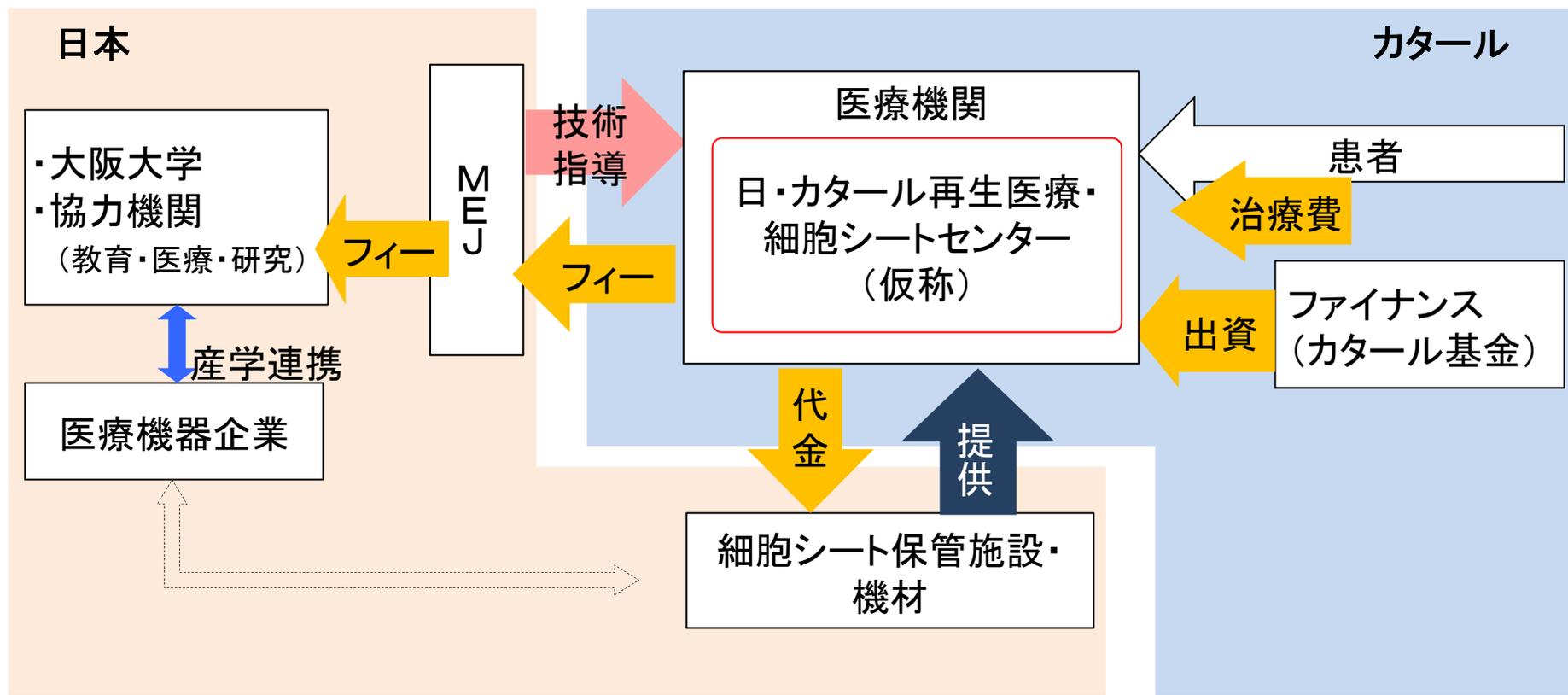
設備内容: 重粒子線治療機(サイクロロン1基、ガントリー2基)、内視鏡システム等

各国における進捗状況(カタール)

参考

検討中： カタール 日本・カタール再生医療・細胞シートセンター(仮称)イメージ

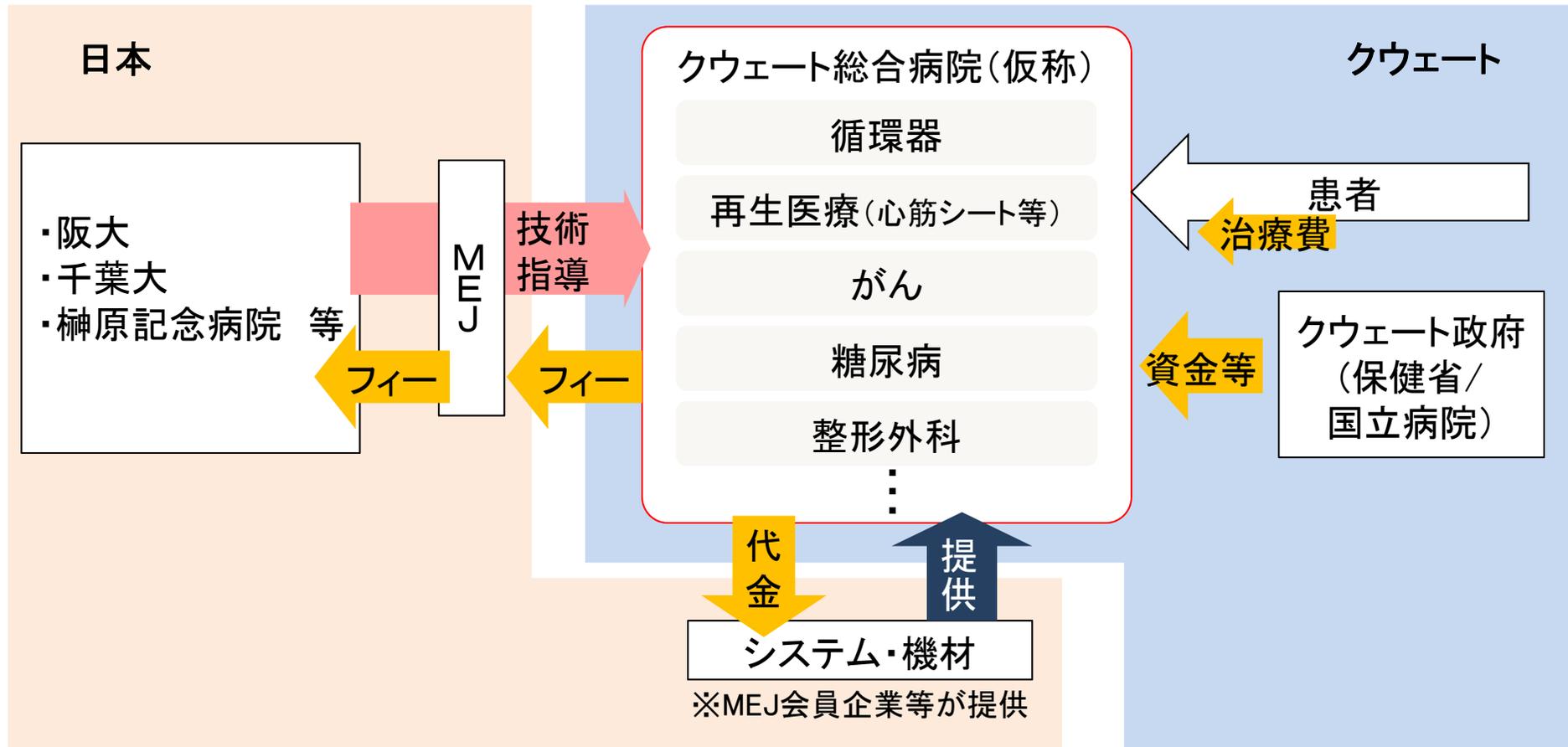
- 国内で作成・培養した細胞シートをカタールに空輸。同センターにて、細胞シートの手術等医療サービスを提供。
- 5年後に事業スキームを再考。



事業主体: MEJ
設備内容: 細胞シート保管施設

検討中: クウェート総合病院・人材育成(仮称)イメージ

- 死因トップに入る循環器疾患対応を中心とした日本式総合病院の設立
- 診断・治療の具体的指導・サービス提供(医師等の手配等)はMEJがフロントとして機能。



事業主体: MEJ

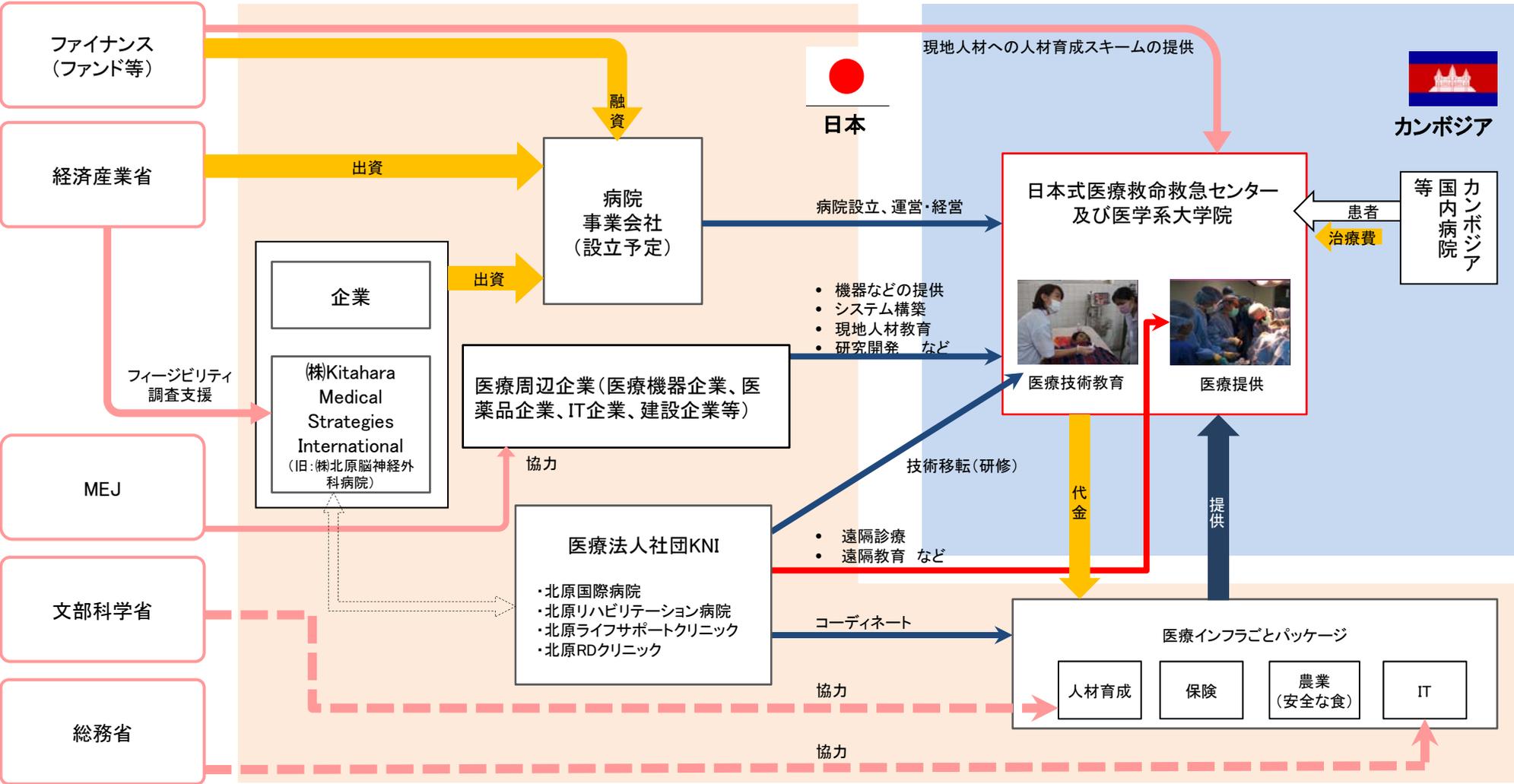
設備内容: 500~1,000床程度の総合病院全体(内視鏡・画像診断・粒子線治療など)

各国における進捗状況(カンボジア)



組成中：カンボジア救命救急センター・大学院設立
(平成25年秋 病院事業会社設立予定)

- 脳神経外科中心の救命救急センター設立、医学系大学院(医学、医用工学、医療経済・政策等)の設立。
- 保険、IT、教育を含む医療インフラをあわせて整備。



事業主体：病院事業会社(エマージェンシー・ライフ・サポート(仮称))
設備内容：日本式医療救命救急センター